

## 「地域における公益的な取組」

### 1 施設名

沼木敬寿園

### 2 取組の名称

介護予防教室等開催事業・地域見守り支援事業・介護相談等受付対応事業

### 3 取組内容について

#### ① 実施に至る経緯

介護予防教室でもある「いきいき100歳体操」を沼木敬寿園地域交流ホールで開催するに至っては、近隣に大勢で集まる施設がなかったため、地区や包括より相談を受けたことがきっかけです。

2か月に1回開催している運営推進会議の目的は、地域と施設との関係をつなぐ一つの手段でもあり、身近にある課題を共有、連携し解決へ導いていくことが求められております。以前より沼木敬寿園に「困りごと相談窓口」を設置していることを運営推進会議や回覧板等を通してPRしています。

#### ② 具体的な内容

地域住民の方々より相談、依頼を受け平成29年3月より「いきいき100歳体操」実施のため、地域交流ホールを開放し毎週火曜日実施しています。体操の後には交流ホールにてお茶会を開き交流を図り、月に1回体操前に専門職中心にミニ講座を開き、施設で働く職員（人材）を地域の中で活用していただいています。

また、直接民生委員や近隣住民から直接相談を受けるなど常に地域住民の方々の異変に気付き、施設が相談窓口になれるよう対応しています。

地域包括支援センター主催の「認知症カフェ」へ専門職が出向き直接相談を受けたり、介護の情報に限らず季節に合わせたためになる話を持ち寄りミニ講座を開いています。

#### ③ 参加対象者及び参加費用

「いきいき100歳体操」について、参加対象者は地域住民で会場準備等も地域住民主体で行っています。基本参加費用はかかりません。

#### ④ 予算や人員体制など

「いきいき100歳体操」終了後、お茶会を開いています。その際の飲み物とお菓子代がかかる程度です。会場の準備等も自分たちでやりたいと地域住民の方々より相談があり、基本お手伝いはしておらずDVD管理のみ施設で行っています。時々地域包括支援センター職員が見学に入っています。

#### ⑤ 取組による変化や効果

地域住民が外へ出ることで閉じこもり防止や身だしなみに注意するなど生活にメリハリが付いてきたり、また、仲間意識が生まれ、人と人とのつながりが深まり、施設にとっても知名度が高くなり、取り組みに理解していただき、職員とも顔なじみに

なり頼っていただく存在になっています。

運営推進会議においては参加者が地域の情報を持っている人が集まり、困りごと等課題に対して一緒に考え、協力体制で連携を図り施設の強みにもなってきています。

#### ⑥ 今後の展望

地域交流ホールを地域住民の方々に活用していただくため、「いきいき100歳体操」や専門職の「ミニ講座」開催での、地域住民の受け入れを今後も実施していきます。

その際、気持ちよく施設へ足を運んでいただくよう、挨拶や対応に心掛け、交流を図りたいです。

運営推進会議においては、施設の取り組みなどを今後も分かりやすく説明し、情報提供しながら連携を図っていきます。また施設が「困りごと相談窓口」であることを今後もPRし、施設が求められているものに沿って、その都度新しいことを地域へ発信していきたいです。認知症カフェへも定期的に参加し情報提供や情報収集し、可能であれば利用者と一緒に参加し交流を図っていくことも考えています。

#### 4 取組様子の写真

